

【栗田病院 広報誌】

広報

# こだま

2024

Vol.49



広報散歩 診療支援部 IT管理課

フォーカス くりた人

- ・医局 精神保健指定医・日本医師会認定産業医 増本 梓
- ・マロン病棟（認知症治療病棟）看護師 三次 翔太

## 栗田病院グループ上半期イベント紹介

今号のイベント紹介ページで特集している納涼祭の実行委員とボランティア学生の集合写真です。

### 栗田病院グループ・理念 ～私達の求める姿～

私たちの使命は、患者様、利用者様、ご家族様、地域連携機関、地域住民、有朋会職員と  
いったあらゆる方々の「こころ」に、温かな（ホットな）灯りをともすこと、笑顔を増やし続ける  
ことです。その使命を果たすことで、以下3つの姿を実現します。

1. 医療・介護・福祉を統合した高品質のサービスを設計・開発し提供し続けている。
2. スタッフみなが有朋会の一員であることに胸を張っており、患者様、利用者様、ご家族様に  
質の高いサービスを提供している。
3. 働きたい・学びたいと希望する方が絶えることなく集まってくる。



医療法人社団 有朋会  
**栗田病院**

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505  
TEL: 029-298-0175 Mail: yuhokai@yuhokai-kuritah.com  
<http://www.yuhokai-kuritah.com/>



こだま  
バックナンバーは  
こちらから

# 広報散歩

## 「診療支援部 IT管理課」

近年、医療業界ではIT化の需要が高まり、多くの医療現場でITシステムの導入が進んでいます。我々精神科病院においても、非常に重要な役割を担うIT管理課。今回は、当院のITシステムを支えるスタッフについての特集です。

### IT管理課の紹介

当院では、IT委員会を設立し2012年に電子カルテを導入する等、医療とITの融合を推進してまいりました。また、より専門性の高いシステムの導入を目指して2019年にシステムエンジニア(S/E)を採用し、2020年にはIT管理課を新たに設立いたしました。

IT管理課には、現在2名のシステムエンジニアが所属しており、それぞれがITに関する深い知識と豊かな経験を有しています。これらのスタッフは非常に信頼できる存在で、ITに精通していないスタッフに対しては、丁寧かつ親身に指導を行い、温かい雰囲気でもてかまわされています。このような姿勢が他部署のスタッフから信頼され、気軽に相談しやすい環境を築くことに繋がっています。また、最新のIT技術を学びつつ、他部署のスタッフと積極的なコミュニケーションをとることで他部署のニーズを理解し多様な課題に取り組んでいます。

### IT管理課の役割と業務内容

IT管理課は、病院全体のIT環境の維持と管理を中心に、情報システムの運用、セキュリティ対策、サポートデスク業務を担当しています。具体的には、電子カルテや診療支援システムの保守運用、医療機器と連携した日々のシステムの管理、およびシス



IT課スタッフの岡田達也さん(左)と山田弘行さん(右)

ムトラブルの対応など、医療スタッフが安心して業務に専念できる環境の提供を役割としています。

### 現在力を入れている取り組み

現在、IT管理課では、院内ネットワーク環境の改善に取り組んでいます。この取り組みでは、老朽化したネットワーク機器の更新と、ネットワークセキュリティの強化を重点的に進めています。

まず、老朽化したネットワーク機器の更新に関してですが、病院内で使用されている通信機器を最新のものに置き換える作業を進めています。これにより、通信速度と安定性の向上を図り、データの送受信が迅速かつ安定的に行われるようになります。例えば、電子カルテ等のシステムの閲覧・操作がスムーズになり、医療スタッフが日常業務をより効率的に進められる環境が整います。これにより、医療サービスの質を高めるだけでなく、スタッフの業務負担の軽減にもつながると考えています。

また、ネットワークセキュリティの強化も重要な取り組みの環です。医療機関では、患者様の個人情報や診療記録といった機密性の高いデータを取り扱っており、様々な外部からの脅威から守ることは非常に重要です。そこで最新のセキュリティ技術を用いて対策を強化しています。これにより、外部からの攻撃によるリスクを最小限に抑え、安心してデータを扱うことが可能になります。さらに、IT管理課では、セキュリティ意識の向上を図るため、スタッフ全員に対して定期的な研修を実施しています。この研修では、最新の脅威情報やセキュリティ対策について学び、院内全体で安全なネットワーク環境を維持するための意識を高めています。

このように、IT管理課では、院内ネットワーク環境の改善を通じて、医療現場における通信環境とセキュリティの両面から支援を行い、医療スタッフが安心して業務に専念できる環境の提供を目指しています。今後も、常に最先端の技術を取り入れ、医療機関としての信頼性を高めるための取り組みを続けてまいります。

### IT管理課の今後の目標と展望

IT管理課は、急速に変化する技術環境と医療ニ

# フォーカス くりた人



医局  
精神保健指定医・日本医師会認定産業医  
増本 梓

当院で働く、現場職員の声をお伝えします。

### 医師(精神科医)を目指した理由を教えてください。

中学生頃から漠然と医師になりたいという気持ちがありました。大きなきっかけは高校生の時にガラスに突っ込み右腕を5cm程度怪我してしまつて。傷は深く出血量も多めでしたが、近くの外科を受診して縫合していただいた後遺症なく軽快しました。そのことをきっかけに強く医師になりたいと考えようになりました。何科に進むかは迷つておりましたが、医学部で各科での研修があり精神科や呼吸器内科に興味を持ちました。その後初期研修医や他科を経た後に精神科医を志望して2020年4月に栗田病院へ就職しました。

### 現在の仕事内容を教えてください。

2024年4月に栗田病院へ就職してからは徐々に担当させていただく内容が増えていき、栗田病院での外来と病棟、こころのクリニックでの外来、産業医、水戸済生会のコンサルテーションが主な業務です。今年(2024年)6月に精神保健指定医を取得したのが指定医業務も徐々に増えてまいりました。次年度には精神科専門医の取得を目指しております。また新規の産業医活動も加わる予定です。今後とも対応可能な範囲を広げていけるよう精進してまいります。

ズに対応する重要な役割を担っています。ストレスフリーなシステム環境を提供し、職員の負担を軽減することを中心に考えたいと思います。現代の業務環境において、ITシステムは業務の効率化を促進する不可欠な要素となつていますが、システムの複雑化や不具合によつて、かえつて職員の負担が増加することも少なくありません。このような課題を解決し、組織的にシームレスなIT環境を整備することが、IT管理課の最重要課題です。

まず、IT環境の安定化を図るために、ネットワークの高速化と信頼性の向上を進めます。特に、複数の事業所が存在する場合、各拠点での通信速度のばらつきや、システム接続の不安定さが業務効率に悪影響を与える可能性があります。これを解消するため、次世代通信技術の導入や、クラウド技術の積極的な活用を検討します。これにより、どの事業所においても貫した速度と安定性でシステムを利用できる環境を提供し、職員がシステム関連の問題でストレスを感じることを防ぎます。

また、無線通信の安全な利用につきましても、対応を進めてまいります。医療現場での無線通信の利用が増加しており、安全な運用が課題となつており、無線環境の整備と電波に関わるトラブル等の対策・防止を行う体制を整備してまいります。

また、AIやIT技術の社会実装が進む中、これらの技術を効果的に活用することが求められます。将来的に、AIやRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)を活用して、定型業務の自動化やシステムの効率化といったデータの標準化と相互運用性の連携を進めます。これにより、職員が煩雑な手作業に時間を取られることなく、より重要な業務に専念できるようになります。例えば、データ入力やレポート作成といった反復的な業務は、AIを活用した自動化ツールで処理することで、職員の負担を大幅に軽減できます。また、AIによる予測分析を用いて、システムトラブルの未然防止やメンテナンスの最適化を図ることも可能です。

これらの取り組みを通じて、IT管理課は全体の業務効率化を推進し、どの事業所においてもストレスフリーなIT環境を提供することを目指します。結果として、職員の負担を軽減し、より生産的で快適な職場環境を実現することができると考えています。

### 栗田病院の働きやすいところを教えてください。

医局内では医師の数が増えてきて、負担が分担しやすい環境となつているため働きやすいです。病院全体やクリニックではスタッフの方々が皆さま優秀で頼もしいため働きやすい環境であると思います。栗田病院のみで勤務していた時はこの環境が一般的なのかと考えておりましたが、他院での研修を経てからは一般的ではないと気づき、栗田病院がすごく働きやすい環境であるということを痛感いたしました。

### プライベートでの趣味や休みの日にしていることを教えてください。

趣味とは違うのですが最近運動を習慣的に行うように心がけています。大学時に20kg、初期研修医期間で10kg、栗田病院へ就職後の4年程度で15kg程度体重が増加してしまつたので、血液検査上でも複数の問題があつて血圧も高めになっております。運動することなどか問題点をうまくコントロールしていきたいです。

運動は長男とのリングフィットアドベンチャーに加えて今はルームランナーで毎日10〜30分程度歩いたり、走ったりしております。わたしの体重増加の原因は飲酒時の暴食が原因で、そこは変わつてないのなかなか体重も減らずに経過しております。改善が必要な点です。

### 今後の目標・ビジョンを教えてください。

自立した精神科医として仕事をしながら一人でも多くの患者様の苦痛を軽減できるよう目指していきたいです。今後も栗田病院で勤務を継続していきたいと考えておりますが、わたしは地元が九州の佐賀県で兄弟がいないため、両親に対しての支援が必要となつた際には九州に戻らざるを得ない状況となるかと思っています。可能な限り長い期間栗田病院での勤務を続けていくことができれば幸いです。今後ともよろしくお願ひします。

本インタビューは  
下記から動画にて閲覧可能です。



# フォーカス くりた人



マロン病棟（認知症治療病棟）  
看護師 三次翔太

当院で働く、現場職員の声をお伝えします。

**配属部署での役割や活動、担当業務**  
私は、マロン病棟で看護師として働いています。マロン病棟は高齢の患者様が多いため内科的な疾患がある患者様も多く入院されています。そのため、認知症患者様の精神的なケアだけでなく、点滴などの医療行為も行っています。

看護師の主な仕事内容は、患者様の精神症状の観察や記録、食事の提供やおむつ交換などの日常生活の援助のほか、点滴や褥瘡の処置や検温などの身体管理など多方面にあります。

夜勤では患者様の精神状態が昼間とは違い、徘徊してしまう方や妄想的になり不眠になってしまう方などがある為、対応の難しさを感じています。

日勤や夜勤に限らず患者様が急変してしまった場合は、担当の看護師が救急車に同乗して総合病院などを受診することもあります。時には、精神症状が安定せず、易怒的な言動がみられる患者様もおり、医師の指示の下、拘束や隔離など特殊な対応を必要とする場面もあります。このような際には、患者様自身の安全はもちろん、我々スタッフの安全も守りながら対応にあたります。

## 患者様との関わり、心がけている事など

一口に認知症といっても様々な症状の患者様がいます。そのため、患者様の症状に合わせた関わり方を心がけています。どのような患者様に対してもまずは話を傾聴して、その方の言動の理由を探るようにしています。訴えの頻回な患者様については、どういった内容の訴えであるのか、

なぜその訴えが表れるのか、また、易怒的になっている患者様に対しては、怒りの理由はどこにあるのか、どうすればその怒りを抑える事ができるのか、などその言動に至る理由を理解した上での対応を心がけています。頻回な訴えに対しては、忙しさのあまりつい聞き流してしまいがちになることも正直ありますが、そうすることでかえって症状を悪化させてしまったり、易怒性の増してしまう患者様もいらっしやるので、対応には十分注意しています。

## やりがいを感じる時

入院当初はBPSDなどにより不穏の呈しがちな患者様が、治療が進み回復するにつれ、穏やかに退院されていくのを見ているととても嬉しく感じます。ありきたりですが患者様のケアをした際に「ありがとう」と言われた時など、感謝された際に、この仕事をしていたよかったです、やりがいを感じています。また、家族の方にも「良くしてくれてありがとう」と感謝されることもあり、そのように言ってもらえると仕事の意欲も上がります。

## 他職種・関係機関との連携・繋がり

マロン病棟ではMSWやOTなど、多職種と関わる場面が多々あります。多職種の方が同じ病棟で働いているからこそ患者様の情報共有や相談ができ、患者様に合った対応を迅速に行える場面も多いと思います。マロン病棟で働いて4年目になります。が、介護士や看護助手の方々など、全ての職種のスタッフが協力し合い成り立っている職場だなと感じています。



多職種で連携を行うマロン病棟

## 現在の職種を目指したきっかけ

看護師を目指したきっかけは、高校生時代に看護体験で実際に病院へ行った際に、緊迫した現場で仕

事を淡々とこなしている看護師の方々を目にし、自分もこんな仕事のできる人間になりたいと思ったことがきっかけです。もうひとつのきっかけは、私が中学生の時に、祖母が癌になり入院したことです。普段元気だった人が弱っていく、何もできず見ているだけの自分に無力さを感じ、なにか自分にもできることがあったのではないかと思うようになり、看護師を目指すようになりました。看護学生時代には、実習でつまづき辞めてしまいたいと思う事も何度もありましたが、実際に看護師として働いている現在では、続けていくよかったですと心から感じています。

## これからの目標

これからの目標は、看護師としての技術を磨いていくだけでなく、疾患や使用する薬剤についてなど、様々な事を学んで知識と技術の優れた看護師を目指していきたいと考えています。なかなか家に帰ってから時間が作れず、疑問に思ったことは先輩の方々に聞いて終わりにしてしまうことが多いため、少しでも時間を作り勉強していきたいです。現在は准看護師として働いていますが、学校へ通い

正看護師の資格を取ることを目標にしています。

家庭があり仕事は続ける必要があるため、通信制など働きながら取得できたらと考えています。

技術面に関しても、夜勤が多いと、日中に行われる処置が経験できないまま退院してしまうケースもありますので、日勤の際には積極的に処置を行って技術面を向上できるようにしていきたいです。



マロン病棟スタッフ



本インタビューは下記から動画にて閲覧可能です。

# 栗田病院グループ 上半期イベント紹介

2024 4  
4月1日(月) 入社式、新入オリエンテーション  
4月7日(日) 職員総会(みんなで創ろう！みんなの未来会)  
4月25日(木) 求職者向け病院見学会  
4月27日(土) 求職者向け病院見学会

2024 5  
5月26日(日) 新入職員歓迎バーベキュー

2024 6  
6月1日(土) 求職者向け病院見学会  
6月4日(火) 求職者向け病院見学会  
6月14日(金) 求職者向け病院見学会  
6月22日(土) 地域の方向け健康セミナー「認知症予防&栄養講座」

2024 7  
7月14日(日) カプトムシ採集イベント★  
7月15日(月)  
7月26日(金) 那珂・ひたちなか地区認知症講演会

2024 8  
8月8日(木) 防災消火訓練  
8月13日(火) 求職者向け病院見学会  
8月20日(火) 求職者向け病院見学会

2024 9  
9月14日(土) 納涼祭★  
9月21日(土) 地域の方向け健康セミナー「コグニサイズ」  
9月28日(土) 求職者向け病院見学会

2024 10  
10月4日(金) 若年性認知症支援研修会  
10月6日(日) 職員運動会・ポッチャ体験会  
10月15日(火) 創立記念式典・症例研究発表会  
10月26日(土) 認知症予防セミナー

## Pick Up!

9月14日(土)  
納涼祭



夏の暑さも残る中、納涼祭を開催しました。今年度はたくさんのダンスグループにお越しいただき、イベントをより一層盛り上げてくれました。屋台では、定番の焼きそばやかき氷などを振る舞い、ゲームコーナーも設け、射的や輪投げなど、皆さんに楽しんでいただく機会となりました。

さらに今年度は、ボランティアとして地元の高校生にもたくさん参加いただき、例年にも増して活気のあるイベントとなりました。



## Pick Up!

7月14日(日)・7月15日(月)  
カプトムシ採集イベント



病院の裏側に大きな林があり、毎年夏になると昆虫採集を行っています。野生の昆虫を捕まえる機会が少なくなった子供たちに、昆虫や森などの自然と触れ合う機会を提供しています。自分達でしかけを作り、それぞれ思い思いの木に吊るし、翌朝再度集合して、しかけの様子を見に行きます。見事捕まえた昆虫は虫かごで持ち帰っていただき、ご自宅で飼育してもらいます。今回のイベントでは、職員家族や地域の方々にもたくさんご参加いただきました。



## 診療案内

### 外来担当医一覧表

	診察室	月	火	水	木	金	土
午 前	1 診	栗田	正田	安部	栗田	鈴木	正司
	2 診	安部	高橋	堤	木滝	堀	第2週 鈴木 (変則あり) 第3-5週 吉川
	3 診	堤	早坂	木滝	正田	翠川	田村
	5 診	須能	正司	伊藤	増本	本多	月田
	6 診				佐々塚		宮木
午 後	1 診	栗田	田村	安部	栗田	鈴木	
	2 診	安部	高橋	木滝	木滝	増本	
	3 診	月田	早坂	須能			
	5 診	本多		宮木		伊藤	
	7 診	隔週 藤沼					

初めての外来受診・入院を希望される方へ

1. 電話で患者様の情報や現在の状況をご相談下さい。

2. 次にケースワーカー(相談員)が詳しい話を伺い、その後ご予約をお取りします。

※現在他病院を受診している、もしくは受診していた場合は紹介状が必要になります。

※当日の状況により、予約内容が変更になる場合がありますので予めご了承ください。

■=内科

〈午前の部〉

〈午後の部〉

\*精神科外来は完全予約制になります。

受付時間 8:30～11:30 / 11:31～16:00

\*当日のご予約は行っておりません。前日までにご予約をお願い致します。

診察時間 9:00～ / 13:30～

予約電話対応時間 月～土(祝日を除く) 9:00～17:00 TEL.029-298-0175

## 関連施設

### サテライトクリニック

「こころのクリニック水戸」 〒310-0801 茨城県水戸市桜川2-5-15 TEL.029-231-0150 FAX.029-231-0152

### 障害福祉サービス事業所 自立訓練(生活訓練) ショートステイ

「くりの実」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505 TEL.029-295-1834 FAX.029-353-2223

### 障害福祉サービス事業所 グループホームくりの木

「第1くりの木」「第2くりの木」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1 TEL.029-295-7652

「第3くりの木」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1 TEL.029-295-7680 FAX.029-295-7681

「くりあん」 〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3429-2 TEL.029-231-2280 FAX.029-231-2281

### 就労継続支援B型事業所

KURITAワークサポートセンター

「Work-Work」 〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3923-5 TEL.029-231-7066 FAX.029-231-7067

### 認知症デイサービス

「クリクリ市毛」 〒312-0033 茨城県ひたちなか市市毛上坪1186-2 TEL.029-275-0262 FAX.029-275-0263

「クリクリ金上」 〒311-0022 茨城県ひたちなか市金上1031-1 TEL.029-271-1607 FAX.029-271-1608

### 小規模多機能型居宅介護施設・認知症グループホーム

小規模多機能ホーム「クリクリ」・認知症グループホーム「クリクリ」

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰140-17 TEL.029-352-0016 FAX.029-298-7750

認知症グループホーム「クリクリ田彦」

〒312-0063 茨城県ひたちなか市田彦950-48 TEL.029-275-8701 FAX.029-275-8702

地域生活支援事業部

認知症疾患事業部

## アクセスマップ

